



Salamat Po=ありがとう。たくさんの感謝の気持ちを忘れずマニラの様子を伝えていきたいと思っています。

4月17日(月)に新学期が始ったマニラ日本人学校。今年は470人でのスタートでした。全国各地から8名が赴任し、新しい出会いの中でたくさんの刺激をもらい3年目の学校生活を充実のものにしたいと思っています。

日本人会盆踊り大会 ~約3000人がグラウンドに~

3月4日(土)に日本人会主催の盆踊り大会がありました。この盆踊りは1年に1回のビッグイベント。日本人学校のグラウンドに大きなやぐらと出店がたくさん出ました。約3000人(こんなにマニラに日本人がいるんだー)が来校しひと夏の日本を感じられるイベント(マニラはずっと夏ですが)に酔いしれました。今日は、その様子を紹介します。



1日かがりて大きなやぐらが立てられます。日本そのものです。



私が指導に関わっている和太鼓クラブの演奏。フィリピンの人々には、かなり評判が良いです。



スーパーボール拾い、金魚すくい、焼きそば、焼き鳥など約30近い露店が出ました。



盆踊りのクライマックスは、約1500発の花火。至近距離から打ちあがる花火は圧巻です。

フィリピンの治安について

日本のテレビでフィリピンのセブ島などリゾート地を特集した番組がたびたび流れ今、かなり注目をあびています。その一方、とりあげられているのが麻薬撲滅運動。ドゥテルテ大統領になってからすでに6000人以上の人々が警察や自警団に殺されているというニュースを地元の新聞で見ます。実際、私達日本人の住んでいる地域では、毎日安全に快適に生活できているので実感することがありません。ただ、フィリピン国民の81%が治安が良くなったと感じているようです。過激報道が続いて「フィリピン大丈夫?」とよく友達から聞かれますが、中からと外からでは、見方が違うのだなと改めて海外に住んで感じています。



東洋一のスラム トンド地区

タガログ語を積極的に

英語文化のフィリピン。でもタガログ語(マニラでは)など国の母国語もあります。コンドミのスタッフ、学校のガードマンさん、タクシーの運転手などにタガログ語で話すととても親しく笑顔で接してくれます。私も積極的に使うようにしています。さて、今後フィリピンに行く方にこれだけ覚えておけばというタガログ語9を紹介します。(あくまで私見ですが...)

- ① マガンダン ウマガ(おはよう) ② マガンダン ガビ(こんばんは) ③ クムスタ カ(元気?)
- ④ マッカーノ?(いくら) ⑤ ママヤ(あとでね)
- ⑥ タクシーなどに乗って デレッチョ(真っ直ぐ) カナン(右) カリワ(左)
- ⑦ タラガ?(本当) ⑧ サラマツ(ありがとう) ⑨ マサラツ(美味しい)

ラインスタンプでもたくさんのタガログ語スタンプがあります。

